

八尾市 上下水道耐震化計画(上下水道)

大阪広域水道企業団八尾水道センター

八尾市下水道部

策定 令和 7 年 1 月

改定 令和 7 年 4 月 1 日

1 目標¹

八尾市では、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、対策が必要な急所施設について、今後、概ね13年間(令和19年度まで)で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和11年度の5年間では、被災すると極めて大きな影響を及ぼす急所施設を最優先に耐震化を実施することを目指す。

また、対策が必要な避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等について、今後、概ね36年間(令和42年度まで)で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和11年度の5年間では、24施設に接続する上下水道管路等の耐震化を実施することを目指す。

2 計画期間

令和7年4月～令和12年3月

¹ 目標は、水道事業者等と下水道管理者が相互に調整を行い、記載する。計画期間内に全ての対象施設で対策を実施することが困難な場合には、計画期間内に対策を実施する施設の選定方針や、計画期間外を含め全ての対象施設における対策実施時期の目安等についても記載する。

3 下水道処理区域内における避難所等の重要施設²の設定(上下水道共通)

区分	下水道処理区域内における避難所等の重要施設(上下水道共通)	
	施設数	施設名称
対象全施設数	75	市立病院、医真会八尾総合病院、八尾徳洲会総合病院、貴島病院本院、厚生会第一病院、東朋八尾病院、辻野病院、久宝寺透析クリニック、大道クリニック、ゆうクリニック、寺川クリニック、清水クリニック、あいゆうクリニック、河内山本透析クリニック、市庁舎、消防庁舎、水道庁舎、大阪広域環境施設組合八尾工場、八尾市保健所、八尾市保健センター、斎場、清掃庁舎、総合体育館、八尾警察署(移転先)、大阪府中河内府民センター、社会福祉会館、安中老人福祉センター、桂老人福祉センター、障害者総合福祉センター、久宝寺緑地、八尾小学校、山本小学校、用和小学校、久宝寺小学校、龍華小学校、大正小学校、桂小学校、安中小学校、竹淵小学校、南高安小学校、曙川小学校、北山本小学校、南山本小学校、志紀小学校、高美小学校、長池小学校、東山本小学校、美園小学校、永畑小学校、刑部小学校、高美南小学校、西山本小学校、高安西小学校、曙川東小学校、亀井小学校、上之島小学校、大正北小学校、八尾中学校、久宝寺中学校、龍華中学校、大正中学校、成法中学校、南高安中学校、曙川中学校、志紀中学校、桂中学校、上之島中学校、高美中学校、亀井中学校、高安小学校・高安中学校、府立八尾高等学校、府立山本高等学校、府立八尾翠翔高等学校、府立八尾北高等学校、南木の防災体育館
上下水道管路等の耐震性能確保済み ³ の施設数 (令和5年度末時点)	0	
上下水道管路等の耐震性能確保の目標施設数 ⁴ (令和11年度末迄)	24	市立病院、医真会八尾総合病院、厚生会第一病院、市庁舎、消防庁舎、八尾市保健所、斎場、清掃庁舎、総合体育館、安中老人福祉センター、障害者総合福祉センター、龍華小学校、大正小学校、安中小学校、志紀小学校、高美小学校、永畑小学校、高美南小学校、大正北小学校、龍華中学校、成法中学校、志紀中学校、高美中学校、亀井中学校

² 下水道処理区域内において地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に上下水道機能の確保が必要な重要施設をいう(緊急点検時における「特に重要な施設」と同じ定義)。

³ 重要施設に接続する水道管路(配水本管・配水支管、配水池～避難所等の重要施設)と下水道管路(避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びその途中にあるポンプ場)の双方の耐震機能を確保することをいう。

⁴ 耐震性能確保済みの施設数(令和5年度末時点)を含め、令和11年度末迄(計画期間は5年程度)に目標とする施設数をいう。

4 下水道処理区域外における避難所等の重要施設⁵の設定⁶

区分	下水道処理区域外における避難所等の重要施設	
	施設数	施設名称
対象全施設数	11	大阪府広域医療搬送拠点「八尾 SCU」、環境衛生庁舎、一般廃棄物最終処分場、大阪府警察航空隊、大阪府中部広域防災拠点、陸上自衛隊八尾駐屯地、旧中高安小学校、曙川南中学校、東中学校、八尾空港、恩智川治水緑地
水道管路の耐震性能確保済み ⁷ の施設数 (令和5年度末時点)	0	
水道管路の耐震性能確保の目標施設数 (令和11年度末迄)	3	大阪府広域医療搬送拠点「八尾 SCU」、大阪府中部広域防災拠点、陸上自衛隊八尾駐屯地

⁵ 下水道処理区域外において地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に水道機能の確保が必要な重要施設をいう。

⁶ 水道事業者等が汚水処理施設の管理者等と調整を行い、汚水処理施設に関する耐震化の状況や計画等を確認した上で設定するものとする。

⁷ 重要施設に接続する水道管路（配水本管・配水支管、配水池～避難所等の重要施設）の耐震機能を確保することをいう。

◀ 八尾市 上下水道耐震化重点計画のうち 水道事業等に関する計画 ▶

5 水道システムの急所施設の耐震化(上水道事業及び水道用水供給事業)

(1) 取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ⁸
対象全取水施設	0	-	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	-	-
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	-	-

(2) 導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全導水管(令和5年度末時点)	0	-	-	0	-	-
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	-	-	0	-	-

(3) 浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ⁹
対象全浄水施設	0	-	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	-	-
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	-	-

(4) 送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	444	0	1,166	1,610	28	28
耐震化目標(令和11年度末迄)	1,561	0	49	1,610	97	97

(5) 配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m ³)	耐震化率(%) ¹⁰
対象全配水池	7	81,700	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	3	38,000	47
耐震化目標(令和11年度末迄)	4	48,000	59

⁸ 取水施設の耐震化率=耐震対策の施された取水施設能力÷対象全取水施設能力

⁹ 浄水施設の耐震化率=耐震対策の施された浄水施設能力÷対象全浄水施設能力

¹⁰ 配水池の耐震化率=耐震対策の施された配水池有効容量÷対象全配水池有効容量

(6)ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ¹¹
対象全ポンプ所	7	153,000	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	4	139,300	91
耐震化目標(令和11年度末迄)	5	141,100	92

6 避難所等の重要施設¹²に接続する水道管路の耐震化(上水道事業)

配水池～避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1)下水道処理区域内における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続する配水管(令和5年度末時点)	26.546	1.000	37.598	65.144	41	42
配水本管	5.604	0.961	19.174	25.739	22	26
配水支管	20.942	0.039	18.424	39.405	53	53
耐震化目標(令和11年度末迄)	43.404	1.000	20.740	65.144	67	68

(2)下水道処理区域外における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続する配水管(令和5年度末時点)	0.654	0	1.776	2.430	27	27
配水本管	0	0	0	0	0	0
配水支管	0.654	0	1.776	2.430	27	27
耐震化目標(令和11年度末迄)	1.394	0	1.036	2.430	57	57

¹¹ ポンプ所の耐震化率=耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

¹² 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

◀ 八尾市 上下水道耐震化重点計画のうち 下水道事業に関する計画 ▶

7 下水道システムの急所施設¹³の耐震化

(1) 下水処理場(揚水、沈殿、消毒機能に係る施設に限る)

	揚水施設		沈殿施設		消毒施設		揚水、沈殿、消毒機能に係る全ての施設 ¹⁴	
	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	0		0		0		0	
耐震性能確保済みの箇所数 (令和5年度末時点)	0	-	0	-	0	-	0	-
耐震性能確保の目標箇所数 (令和11年度末迄)	0	-	0	-	0	-	0	-

(2) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路¹⁵

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	0	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	0	-
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	0	-

(3) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までのポンプ場¹⁶

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	0	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	0	-
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)	0	-

¹³ 下水処理場並びに下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びポンプ場をいう。なお、流域下水道の下水道管路及びポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

¹⁴ 当該列において、「対象全箇所数」には、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを有する対象の処理場の箇所数を記入する。「耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)」及び「耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)」には、このうち、揚水、沈殿、消毒施設の全てで耐震性能を確保した処理場の箇所数等を記入する。その際、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを持たない処理場について、存在しない施設は耐震性能確保済みとカウントする。(例：揚水施設を持たない処理場について、沈殿、消毒施設が耐震性能確保済みであれば、カウントする。)

¹⁵ 流域下水道の下水道管路については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

¹⁶ 流域下水道のポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

8 避難所等の重要施設に接続する下水道管路等の耐震化

(1) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	47.92	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	0.44	0.92
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	16.97	35.41

(2) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路の途中にあるポンプ場¹⁷の箇所数

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	0	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	0	-
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)	0	-

以上

¹⁷ 最終合流地点にあるポンプ場は含まない。